

ガーナでそろばんプロジェクト45号(2015年10月1日)

★続けていくことは本当に難しい。私に出来るやり方で迷いながらも続ける★★

アフィエ村
そろばん教室

報告 TOSHIKO

ガーナに戻ってから再開したそろばん教室は、これまでとは違って予想もしなかった事態が起きていて、今後のスクールホリデー時の開室の仕方などを考えなくてはいけないと感じました。そろばん教室が始まってからこれまでずっと学校が長期休みになる時は、日曜日の開室から平日開室と変更して、朝9時半から12時まで練習時間としていました。スクールホリデー中に学校でも特別授業が行われ、それは中学生クラスを対象とした学期で終わらなかつた授業の補習をするための物や、受験生を対象とした受験強化特別クラスが行われるものでした。ところが、今年8月のスクールホリデーは小学校1年生から中学3年生までの全クラスを対象としたものになっていました。ガーナは9月が新学期ということも関係してのことでしょう。この補習授業は、朝8時半から12時まで行われるとあって数人の生徒は、私が学校に着いた時点で既に教室にいるけれど、先生が来ないので授業が始まっていない状況でした。そろばん教室初日は、この状況を何とかしたいという思いだけで、まだ先生が来ていないクラスにいたギデオオンに声をかけて9時までの数十分練習をさせました。これまで、この報告書で書いてるように、長期休みになると村を出て親戚のいる村や町で過ごす子どもも多いため、全クラス対象となる補習授業であつても来ている子どもは半分以下なのです。そうしたなかでも、そろばん教室に通う子どもがいるのはうれしく、学校をあげて補習をする姿勢はともうれいのですが、予定していた開室ができなくなってしまふ...こめんなさいの気持ちも生まれてしまったのです。8月はこのようなこともあって、1回のみの

の開室でギデオオン一人のみ。9月に入ってから最初の開室は8月の開室からだいぶ日が開いてしまった十三日の日曜日にギデオオンが一人不安そうにやってきました。前の週に新学期が始まり、学校でギデオオン始めそろばん教室に通う子どもに日曜日に教室があることを伝えなければ、私が来るかどうかとも不安だったようです。9月の開室は、十三日と二十四日の2回でした。当初二十七日の日曜日を予定していましたが、この日はアクラマラソンがあり、道路が封鎖されると移動が出来なくなる場合も出てくるので、ムスリムの犠牲祭でもある二十四日の木曜日にしたのでした。この祭日も当初の予定は水曜日でしたが、前の週に政府が犠牲祭は水曜日ではなく木曜日にするとう発表したのでした。しかし、この事もあってなのか二十四日の教室は久しぶりに賑わいがありました。机の下で携帯の計算機能を使い計算していたベナアドを途中で帰りましたが、それでも8人が頑張つて練習に取り組みました。これまでもこうした不正行為の度に思うのが、自分で努力して計算が出来ようになるから楽しくなるのに、計算機を使ってしまえば、計算の楽しさを知ること出来ません。新しく教室に入った子どもは、クラス6のダバス、ビリーブ、クラス5のフェメラの3人です。この3人には初日から、私がベナアドに怒り帰すという場面を見せてしまいました。3人にも頑張つて得られる楽しさを感じてほしいものです。突然の予定変更、計算機を使う不正行為、友だちの答えを写す行為、教室を続けて行く上で様々な課題が出てきます。そうした中、何を一番に考えるか？それは子どもの学びたい気持ちを一番に考え大切に私に出来るやり方で取り組んでいきます。

